

一九八一年は、スタンレー・G・ホールが、児童研究をはじめから百年目の年にあたる。

ウントがライプツヒ大学に、実験心理学の研究室を設けて、科学的心理学の端緒を開いたのは一八七九年で、一昨年一九七九年は心理学百年の記念の年とされた。ウントのもとで学んだホールが、米国のジョン・ホプキンス大学に実験心理学の研究室を開いたのは一八八二年であり、それと同時に、ホールは児童研究をはじめた。ホールの研究文献目録を見ると、一八八二年には、運動の錯視などの実験心理学の研究と並んで、児童の道徳及び宗教訓練、意志の教育、一八八三年には児童の精神の内容、児童研究などがあらわれている。

この百年間の児童研究は、科学的心理学と共に進んだが、スタンレー・G・ホールは、乳児から、幼児童期、青年期、老年期にいたるまでの人間の生涯の

発達について、巾の広い人間の関心をもちつづけていた。進化論や精神分析に早くから着目していたのもホールであった。また、ジョン・デューイーと共に、子どもの自発的活動を中心とした新しい幼児教育を推進するのに、児童研究の立場から貢献したことは周知のことである。

児童研究百年の歴史のその後の動向は科学的心理学の歩みと同様に、科学的研究として精密化される方向に向った。それはホールの児童研究の一つの側面であったが、ホールの抱いていた人間そのものに対する関心は、その後次第に、児童研究の表通りでは軽視される風潮が生じた。児童研究の影響をうけつつ発展した近年の幼児教育が、ともすると人間不在の傾向に陥ったのも当然とも云える。

いま、児童研究第二世紀は、真に生きた人間に立脚した児童研究が作られることが課題であり、それは幼児教育の今後の歩みと切り離すことはできない。津守

幼児の教育 第八十巻 第二号

二月号 © 定価二七〇円

昭和五十六年 一月二十五日 印刷
昭和五十六年 二月 一日 発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行人

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内
発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ一二ノ一
印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一
発売所 株式会社 フレーベル館
振替口座東京九一一九六四〇番

◎本誌御購誌についての御注文は発売所
所 フレーベル館にお願いいたします